

横浜市大口通本町会館 (癒しの森)

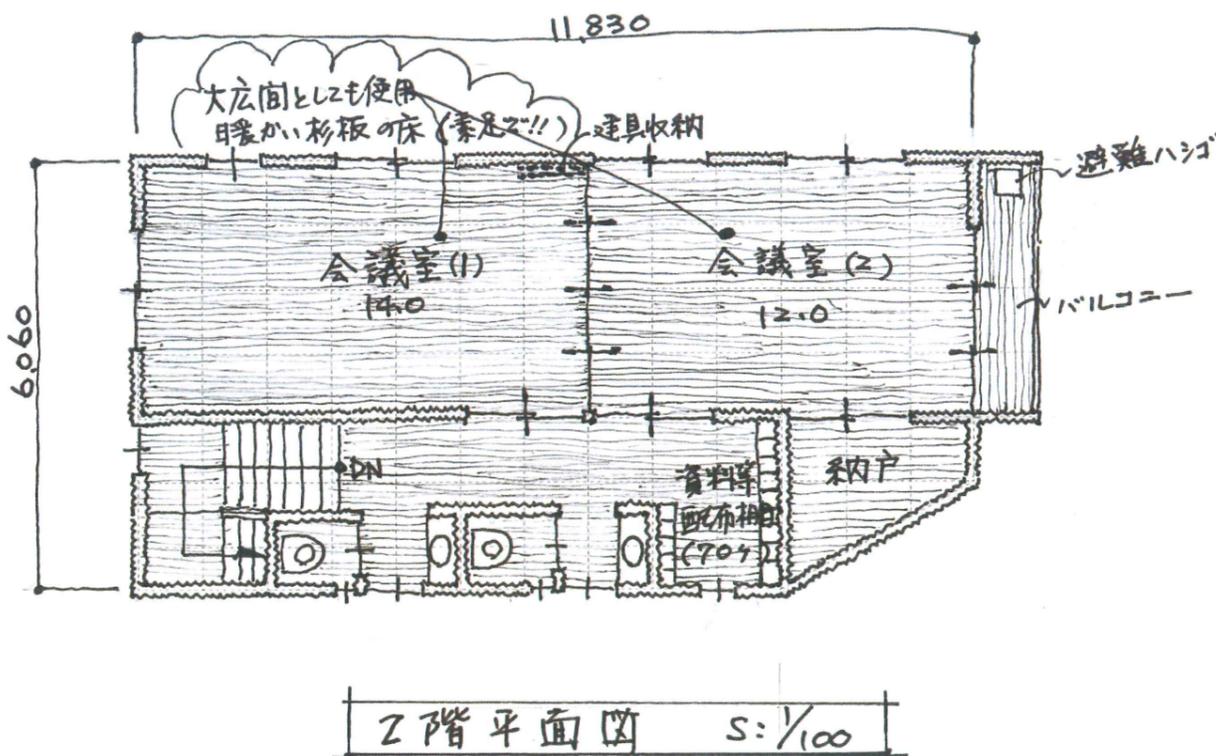
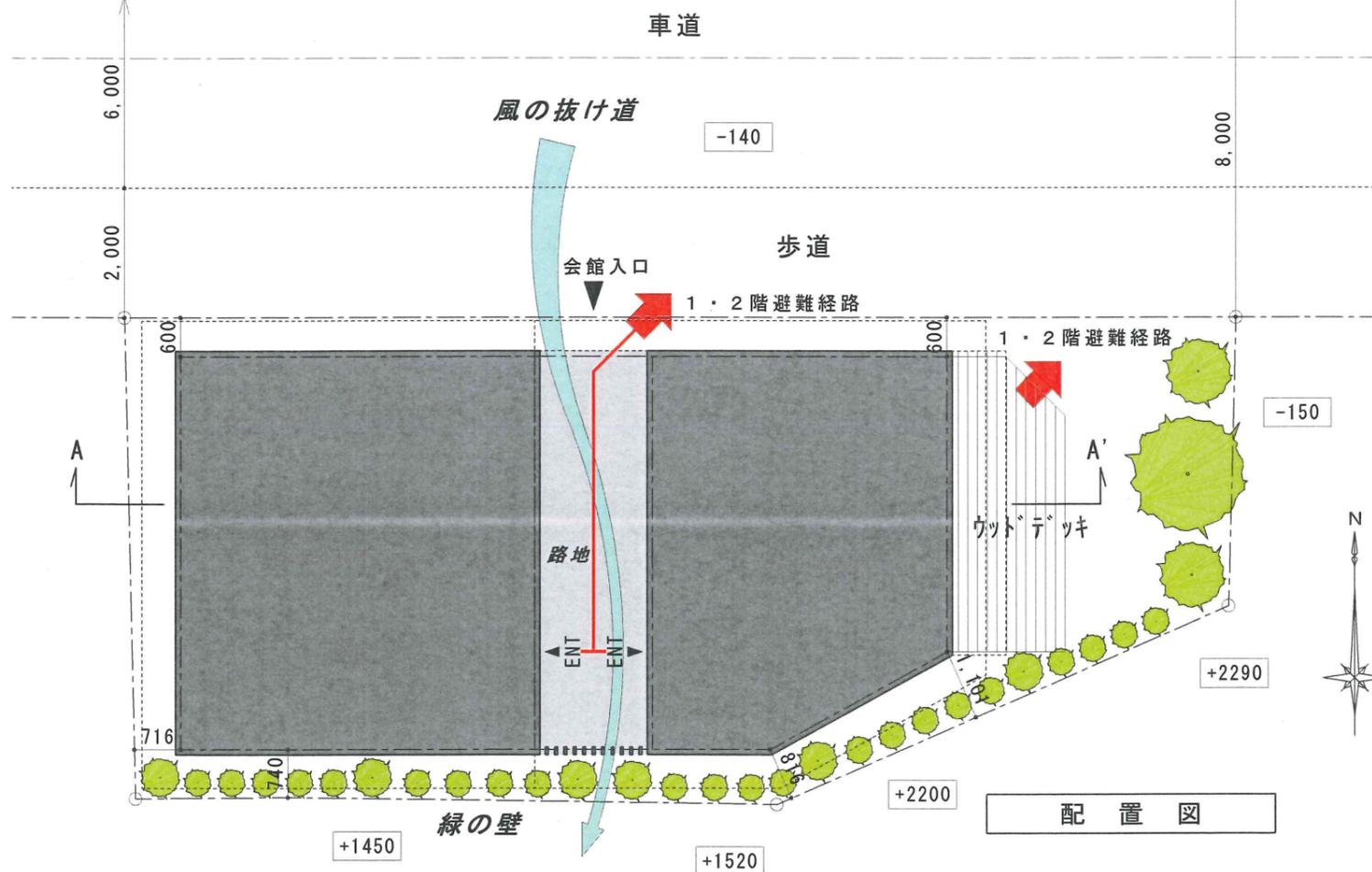
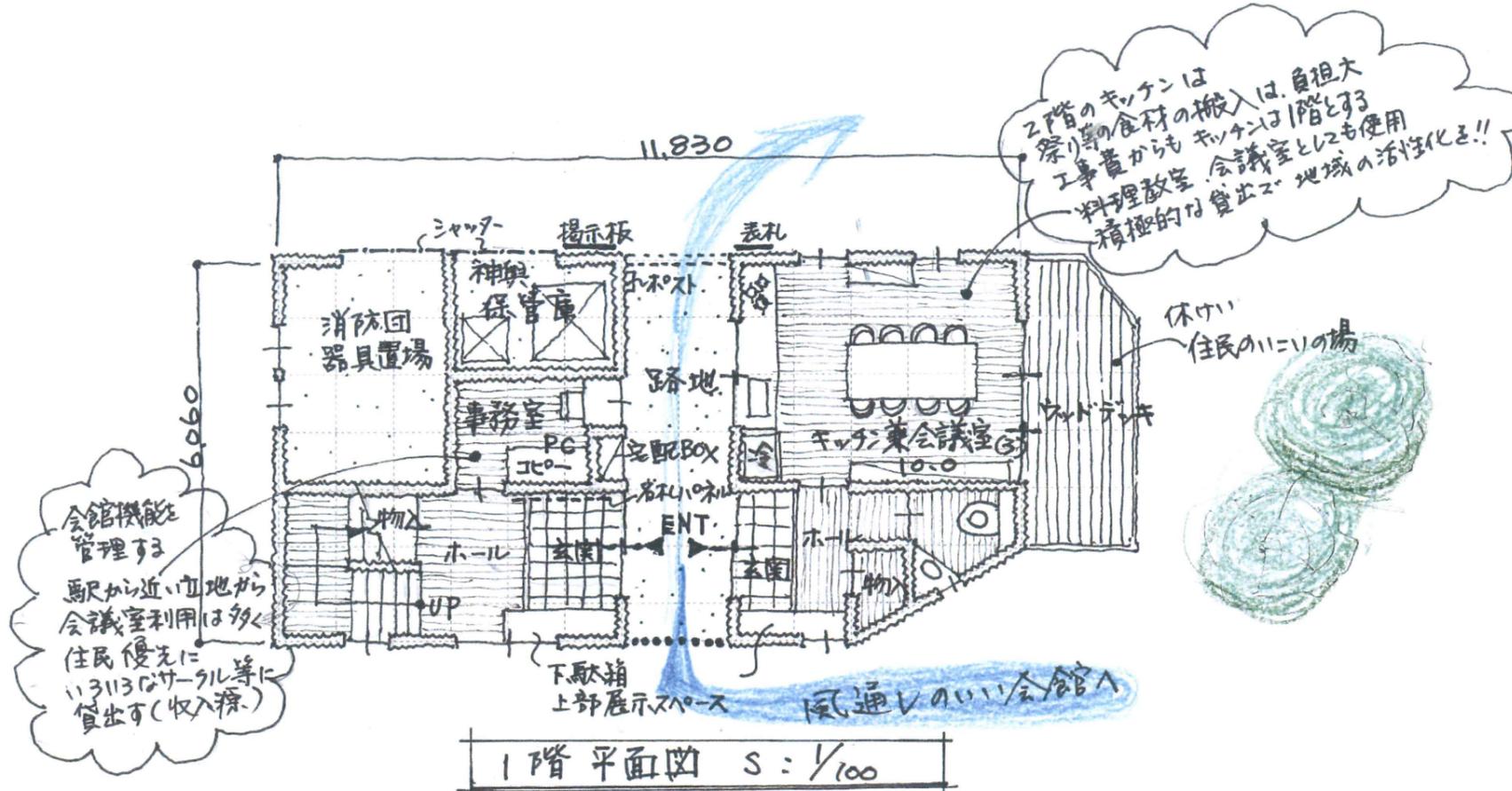
設計主旨

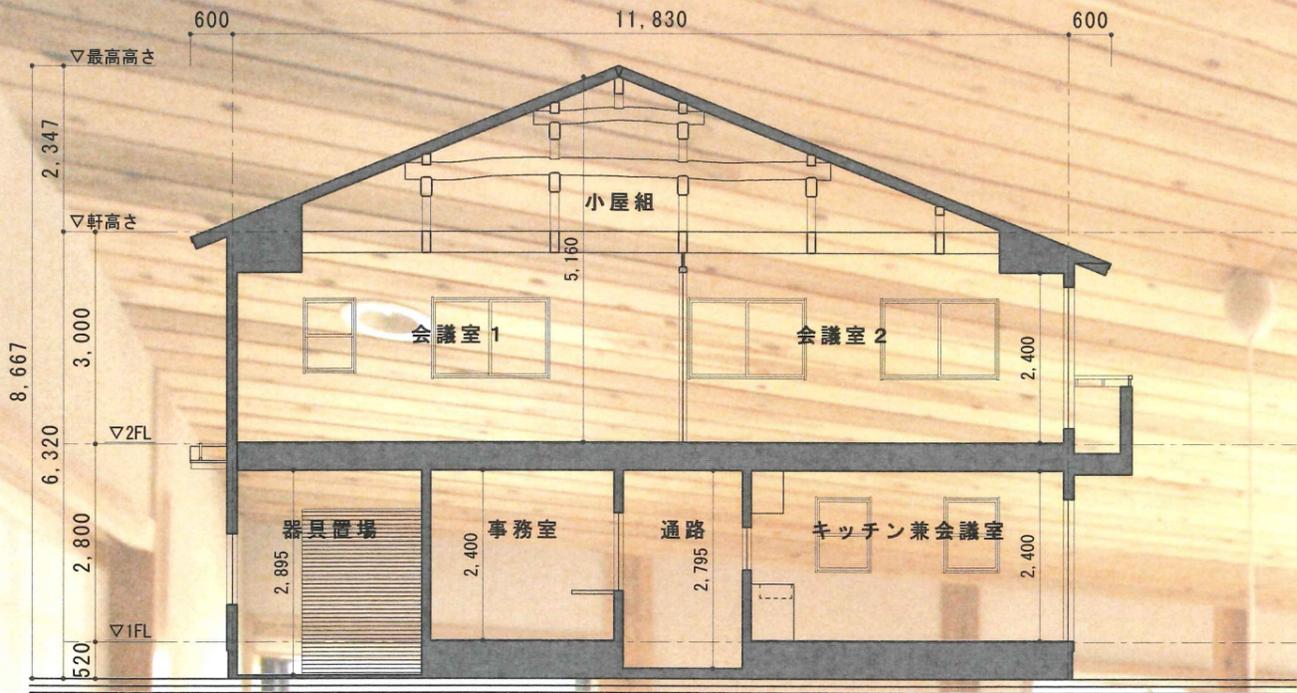
神奈川県第2京浜より内陸部は、古くからの住宅密集地帯が多く狭い道や急な坂が多くありますが、JR大口駅周辺は、平坦な地もあり、京急子安駅まで続く、市内で一番長い大口通商店街があります。しかし、横浜駅周辺の発展に伴い、商店街に活気がなくなりましたが、学校が多くある事や利便性の良さから、高層マンションが建てられ、大口駅の乗降客数は、年々増加しています。駅から近い当会館は、住民の情報拠点としてまた、住民の交流の場など多岐にわたる役割を担っています。

なかでも、商店街や住宅密集地ある当会館の防災対策は、共助が必要となり、住民の拠点となる会館の果たす役割が、もっとも重要となります。災害に強く、情報発信収集の場、安心感、癒される場、気軽に行ける場、楽しみのある場、住民のシンボルとなります。住民が自慢できる会館は、地域温暖化防止、資源循環型社会を考慮し、神奈川の木や近場の材料を使う地産地消に努めます。癒しの森を感じる会館は、商店街の活性化にも繋がる事を目指します。

建物概要 概算総工事 (消費税10%含)

用途地域	第1種住居地域	木体工事費	2,420万
敷地面積	116.22㎡	設備工事費	110万
建築面積	69.62㎡	既存建物解体撤去費	220万(火の見櫓解体含む)
1階床面積	69.62㎡	外構工事費	110万
2階床面積	69.62㎡	設計・監理費	210万
延床面積	139.24㎡	合計	3,070万
建蔽率	59.90% < 60%		
容積率	119.89% < 200%		

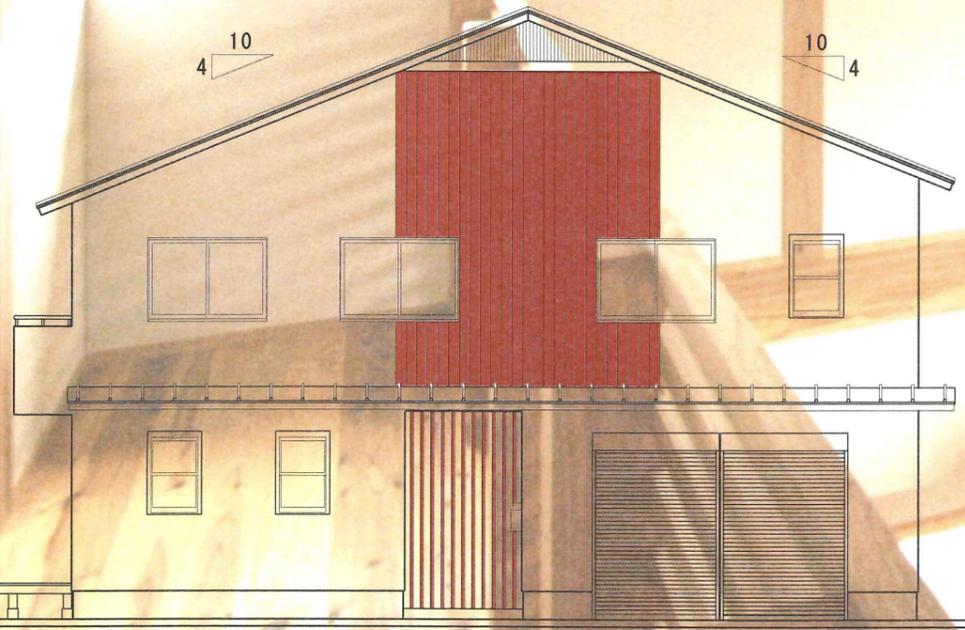




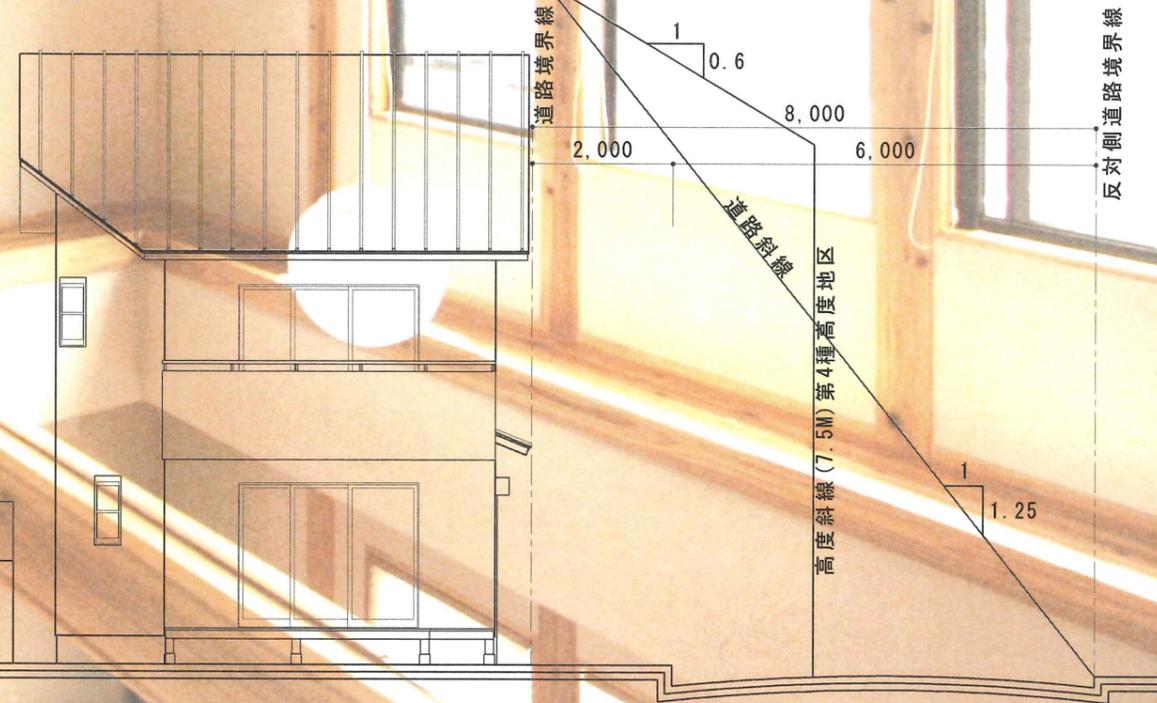
A-A' 断面図



小屋組イメージ



北側立面図



東側立面図